

## 薬物依存 相談の場必要

### 薬家連がフォーラム開く

薬物依存症者の家族や支援者らがつくる全国薬物依存症者家族連合会（薬家連）は26日、第10回フォーラムを東京都内で開きました。

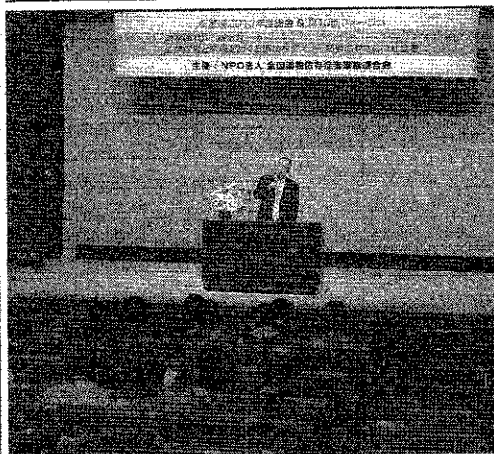
今年で発足して10年になる薬家連は、薬物問題で悩み苦しんできた依存症者と家族の回復

を支えてきました。薬物依存症の息子を待つ母親は、「世間体が気になり、泣きながらも親として必死な思いで頑張っていたが、今思うと自分の行動が息子の依存症をエスカレートさせていた」と当時を振り返りました。

た。家族会につながったことで、息子と自分の人生をしっかりと生きる決意をしたことを語りました。

薬物依存症に苦しむ人たちが回復を目指す民間リハビリ施設「ダルク女性ハウス」施設長の上岡陽江さんは、

薬物依存症の治療に国が責任をもって取り組んでいる海外の例などを紹介。「家族が孤立せず安心して相談できる場がもっと必要だ」と話しました。



薬家連10年の歩みと役割を振り返った第10回フォーラム＝26日、東京都内

「茨城ダルク」の施設長・岩井喜代「さんは、依存症者を持つ家族が外に声を上げるのが難しかったなか、「薬家連は家族自身の苦しみを国に伝えてきた」とのべました。「依存症者と家族をめぐむ環境を変える力を持っている薬家連の力を信じて、次の10年へ新たな一歩を踏み出しましょう」と呼びかけました。